

大宮駅西口交通結節点に求められる機能(案)

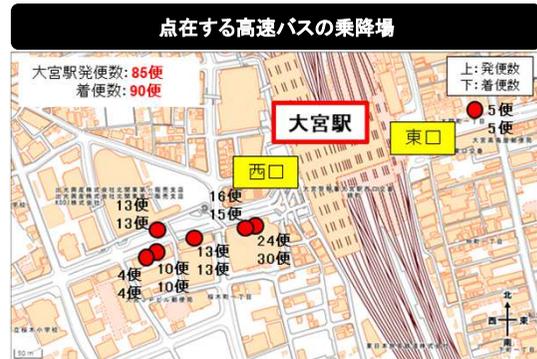
求められる機能(案) —交通の観点—

- 高速バス等が発着する交通ターミナルとしての機能。
- 既存の乗降場(大宮駅・さいたま新都心駅等)の容量に、将来のインフラ等を踏まえたニーズを考慮。

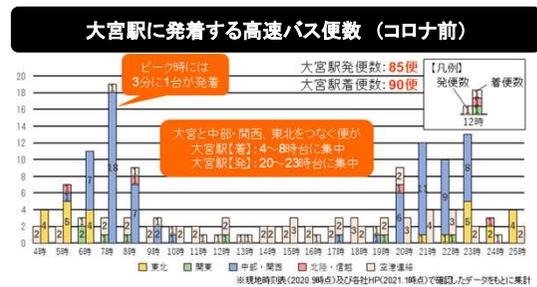
【想定される取組】

- ・大宮駅西口、さいたま新都心等に分散する高速バス乗降場の整備
- ・核都市広域幹線道路等の将来インフラを活用した高速バスネットワークの拡充
- ・待合スペースの整備

■ 高速バス乗降環境の実態



高速バス乗降環境 大宮駅とのアクセスが不便



■ 核都市広域幹線道路の活用



出典: 第1回検討会資料より

出典: 第2回検討会資料より

求められる機能(案) —交通の観点—

○ 大宮駅に集まる鉄道(新幹線・在来線・新交通)、高速バス、路線バス、多様なモビリティ等を円滑でわかりやすく連絡する機能。

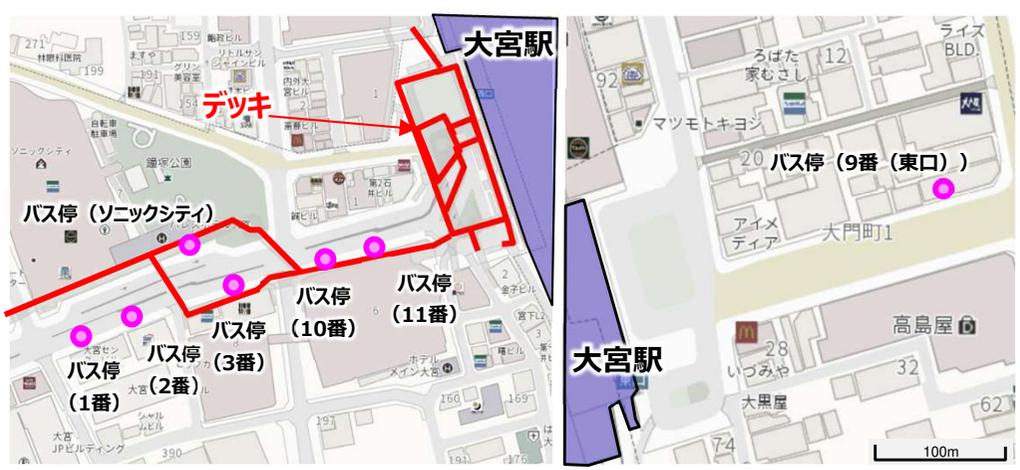
【想定される取組】

- ・デッキ等のリニューアルによる乗継動線の改善

【関連する取組】

- ・大宮駅の改良との連携

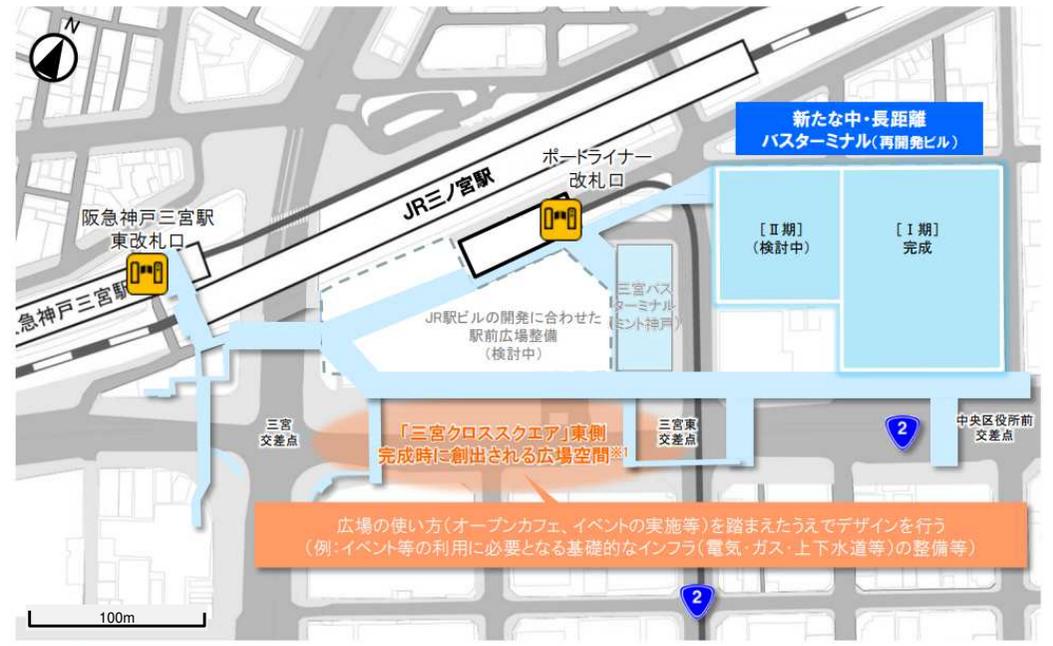
■ 現状の大宮駅周辺のデッキ位置等



出典:© NTTインフラネット

■ 駅周辺の改良イメージ

■ 新たな中・長距離バスターミナルⅡ期完成時の空間の利活用のイメージ



デッキ・建物内通路・横断歩道橋(新たな中・長距離バスターミナルⅡ期完成時)

※1:将来
※2:イメ

出典:国道2号等 神戸三宮駅前空間の事業計画【本編】

求められる機能(案) —交通の観点—

○ 大宮駅西口交通結節点と高規格道路(国道17号・埼玉新都心線・核都市広域幹線道路等)等との円滑な連絡。

【想定される取組】

- ・国道17号(現道)等を経由した高規格道路へのアクセス改善

【関連する取組】

- ・新たなアクセス方法の検討

■ 大宮駅周辺の道路状況



■ 核都市広域幹線道路



求められる機能(案) —交通の観点—

○ さいたま新都心及び大宮駅周辺の主要施設(公共施設・集客施設・公園等)からの円滑でわかりやすい連絡。

【想定される取組】

- ・デッキ、道路・歩道等の整備またはリニューアル
- ・多様なモビリティの活用

■ 大宮駅周辺の主要施設



出典: 第1回検討会資料より

■ 多様なモビリティのイメージ

パーソナルモビリティ



超小型モビリティ



多目的モビリティ



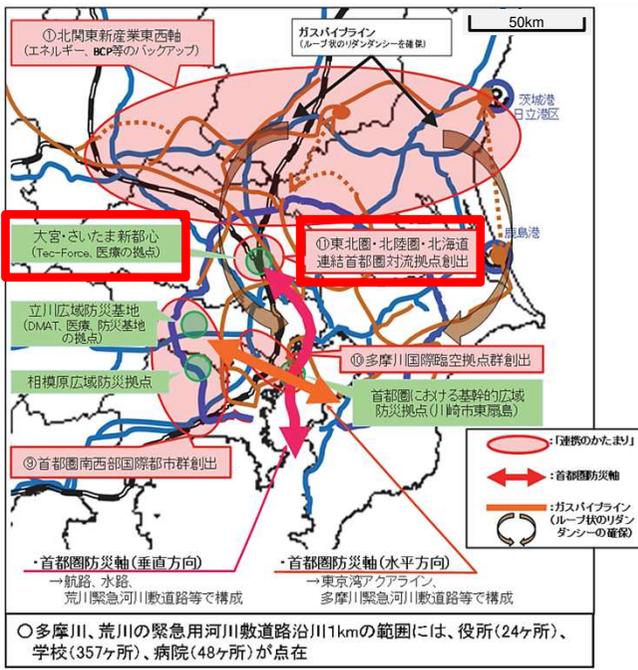
求められる機能(案) —防災の観点—

○ 災害時にはさいたま新都心の行政機関等と連携しながら、災害時の支援者(テックフォース、DMAT)等の広域移動を支えるとともに、活動支援拠点となる機能。

【想定される取組】

- ・災害支援者の広域移動や活動を支援する施設
- ・災害時にも大宮駅周辺～さいたま新都心周辺を円滑に移動できる動線拡充

■ 首都圏広域地方計画 (平成28年3月)



出典：首都圏広域地方計画(平成28年3月)

■ 大規模災害時の支援拠点



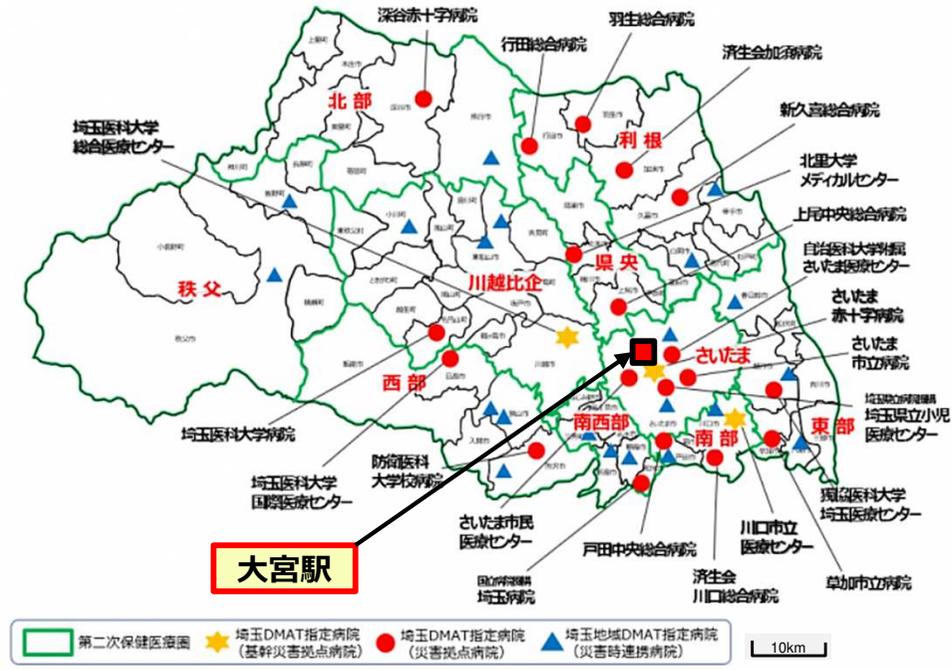
写真：さいたまスーパーアリーナ



写真：TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)

出典：国土交通省 首都直下地震におけるTEC-FORCE活動実績

■ 埼玉地域DMAT指定病院位置図



出典：埼玉県 埼玉DMAT

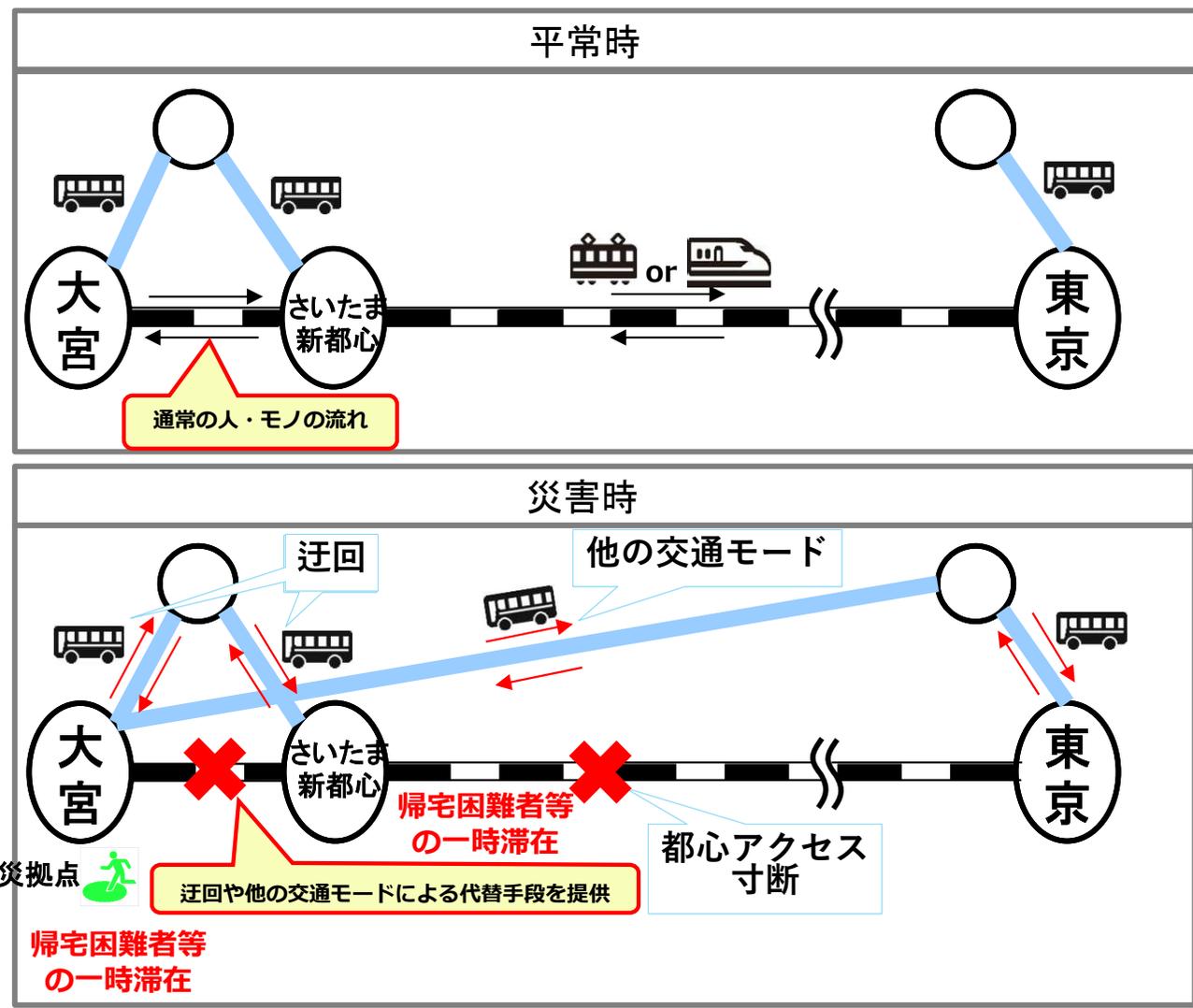
求められる機能(案) —防災の観点—

○ 災害時の交通寸断時において、代替バスが発着する機能。

【想定される取組】

- ・代替バスが発着可能な乗降場の整備

■ 災害時の代替輸送イメージ



■ 代替輸送の事例

仙台市営地下鉄(南北線)の代替バス輸送<<再掲>>



出典: 国土交通省「東日本大震災から2年間の歩み」

求められる機能(案) -防災の観点-

- 周辺施設、関連インフラと一体となり、災害時に施設そのものが一時滞在施設としても機能するよう検討。
 - 市内外に点在または老朽化した公共施設に入所している機能の誘致・集約化の推進。
- 【想定される取組】
- ・災害支援者の広域移動や活動を支援する施設(待合スペース等)
 - ・市内外の防災拠点の誘致・集約化による防災機能・連携強化

■ 帰宅困難者一時滞在施設の立地状況



施設名	最大収容人数	施設名	最大収容人数
1. JACK大宮	90	13. アパホテル さいたま新都心駅北	50
2. そごう大宮店 (大宮スカイビル)	100	14. レクサスさいたま 新都心	100
3. 大宮ソニックシティビル	300	15. フォルクスワーゲン さいたま新都心	100
4. ソニックシティホール	1,000	16. さいたまスーパー アリーナ	5,300
5. パレスホテル大宮	500	17. さいたま新都心 合同庁舎1号館	300
6. 桜木公民館	100	18. さいたま新都心 合同庁舎2号館	180
7. 東京IT会計公務員 専門学校大宮校	50	19. THE MARK GRAND HOTEL	300
8. 鉄道博物館	200	20. ホテルプリランテ 武蔵野	200
9. RaiBoc Hall (市民会館おおみや)	2,000	21. 埼玉トヨペット 与野支店	200
10. 大宮図書館	220	22. ビバホーム本社	300
11. 河合塾大宮校	50	23. 武蔵野銀行本店ビル	200
12. 埼玉福祉保育医療 専門学校	70		
合計最大収容人数 : 11,910			

■ 避難所での避難 (東日本大震災)



出典: 内閣府「特集 東日本大震災」

出典: 大宮駅周辺帰宅困難者対策協議会「帰宅困難者一時滞在施設マップ(大宮駅・さいたま新都心駅周辺 R4.10)」

求められる機能(案) —防災の観点—

- 災害時に各種情報を提供する機能(平常時は、地域・交通・観光等の情報を提供)。
- 災害時にも持続的にエネルギー確保できる機能(平常時も活用)。

【想定される取組】

- ・情報提供装置
- ・再生可能エネルギー供給施設

■ 災害時の情報提供イメージ

平常時



災害時



デジタルサイネージを活用することで効率的な情報提供が可能に

出典:国土交通省 地下街防災推進事業制度の解説と地下街の取組事例

■ 再生可能エネルギー供給施設の例

非常用発電機



太陽光発電



出典:国土交通省 第1回「道の駅」第3ステージ推進委員会(R2.2.14)

求められる機能(案) ー街づくり支援の観点ー

○ さいたま市ならではの自然環境を活かしつつ、大宮駅周辺の主要施設や、地域資源、再開発エリアとウォーカブルな歩行空間や、新たなモビリティでつながることにより、相乗効果を発揮。

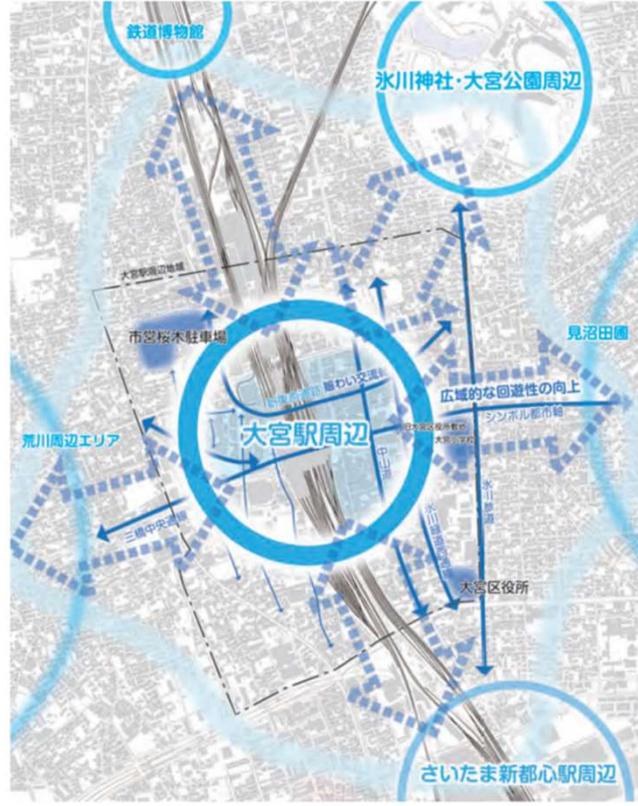
【想定される取組】

- ・デッキ、道路・歩道等の整備またはリニューアル

【関連する取組】

- ・多様なモビリティの活用

■ 広域的な回遊動線の考え方のイメージ



- [凡例]
- 大宮駅周辺地域 (大宮駅周辺地域戦略ビジョンによる)
 - 広域的な回遊性の向上
 - 主要な歩行者動線
 - 主な公共施設
 - おもてなし歩行エリア

出典：大宮GCSプラン2020(R3.3さいたま市)

■ 大宮の地域資源



大宮公園



鉄道博物館



見沼たんぼ

出典：大宮GCSプラン2020 (R3.3さいたま市)

■ 多様なモビリティの活用イメージ

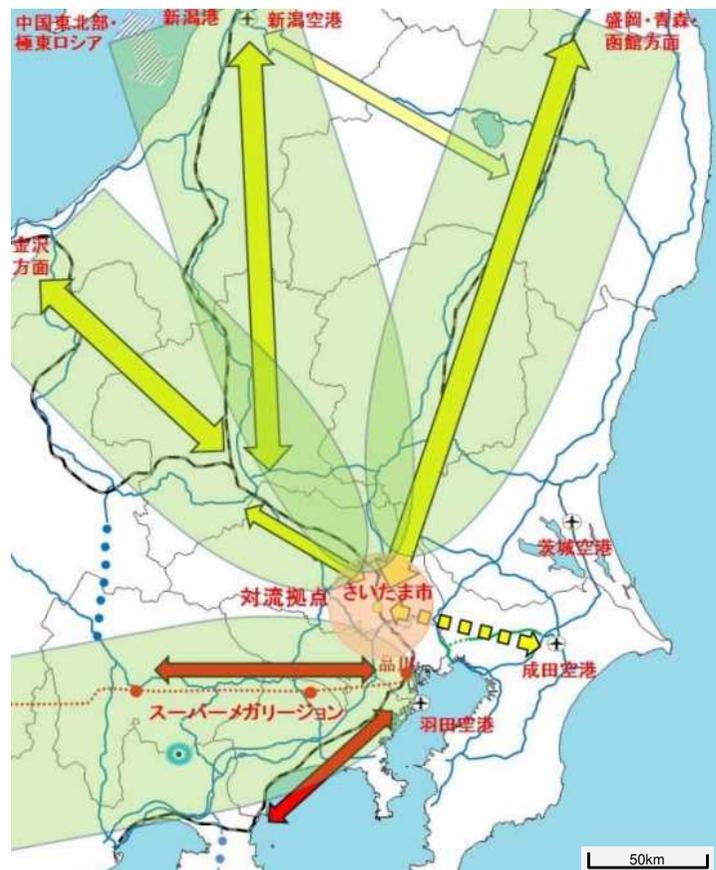


出典：大宮GCSプラン2020 (R3.3さいたま市)

求められる機能(案) - 社会的課題・技術革新への対応 -

- 東北、上信越・北陸方面からの新幹線が集結する「大宮」は、東日本からのヒト、多種多様なモノが実際に集結して交流する最初の対流拠点であることから、「東日本の交流促進」「イノベーションの創出」に資する機能の導入。
- 自然災害の少ない大宮台地、東日本・首都圏各地へダイレクトに移動可能な立地等を活かして、首都中枢機能を含む行政機関に限らない、民間の本社・支社機能の立地、都市開発等による都市機能の充実を支える。

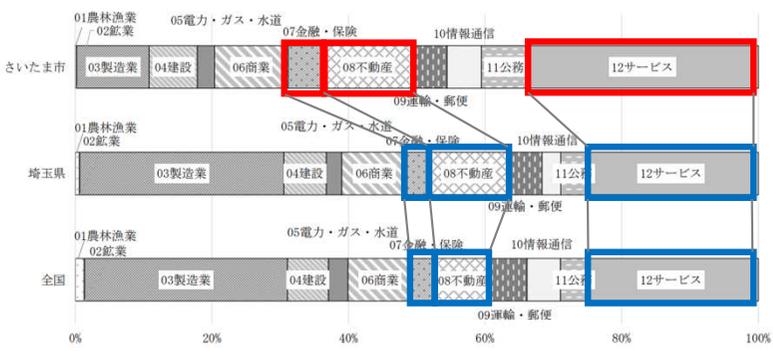
■ 大宮駅の東日本玄関口のイメージ



出典：「首都圏広域地方計画 ～対流がもたらす活力社会の再構築～プロジェクト参考資料（説明図表）」（H28.3 首都圏広域地方計画協議会）

■ 産業

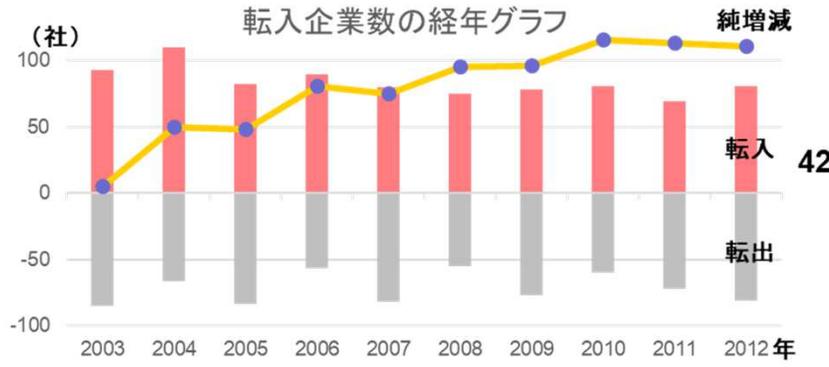
◇ 産業の構成割合



さいたま市は全国に比べサービス業、不動産業、金融・保険業の割合が高い

◇ 埼玉県転入・転出企業数推移

出典：さいたま市HP 平成27年さいたま市産業関連表



2003年から2012年の10年間の企業本社の転入超過数は112社となっており、政令指定都市順位は2位（1位は横浜市）

出典：(株)帝国データバンク(2013年)「さいたま市立地特性分析調査及び誘致対象地域現況調査等業務」(さいたま市HP)

求められる機能(案) —社会的課題・技術革新への対応—

- JR東日本とJR物流では新幹線を活用した高速・多量荷物輸送により、「物流の2024年問題」や「CO2排出量削減」、「地方創生」等、社会的課題の解決を目的に新幹線営業列車客室を使用した輸送の事業化検証を実施。
- 将来的な鉄道貨物(新幹線等の物流)と広域幹線道路との円滑な連絡を検討。
- ドライバー不足等に対応した旅客及び物流の自動運転への対応。

【想定される取組】

- ・自動運転を考慮したインフラの検討

【関連する取組】

- ・貨客混載の取組(施設側での取組)

■ ドライバー不足等に対応した物流の自動運転



出典: WISENET2050・政策集

■ 貨客混載の取組み

◇「はこびユ」による多量輸送トライアルについて

- 1回目のトライアルでは、大宮駅において、ホーム上での積み下ろしを確認したうえで、従来よりスペースを確保できる屋上駐車場での荷捌き等のオペレーションを検証。
- 2回目のトライアルでは、車両基地を使用することでスペースと時間を確保し、車両基地内の既存機材(フォークリフト等)を活用した荷扱い業務の省力化も検証。
- 3回目では、車両センターを活用すること、東京駅では過去最大の約200箱の荷下ろしを実施。

- ①トライアル概要、1回目(一般乗客を乗せた貨客混載列車)
 実施日 : 2023年6月16日(金)
 輸送区間 : 盛岡新幹線車両センター青森派出所 ~ 大宮駅
 荷物搭載 : 3両
 輸送商品 : 鮮魚、スイーツ、生花、電子部品等 約600箱程度
- ②トライアル概要、2回目(一般乗客なしでの荷物用臨時列車)
 実施日 : 2023年8月31日(木)、(臨時列車(※一般座席販売なし))
 輸送区間 : 上り新潟新幹線車両センター ~ 東京新幹線車両センター
 下り東京新幹線車両センター ~ 新潟駅
 荷物搭載 : 上り=4両 下り=2両
 輸送商品 : 上り=鮮魚、青果、菓子、酒類、生花、精密機器部品等 約700箱
 下り=医療用医薬品、雑貨等 約100箱
- ③トライアル概要、3回目(一般乗客なしでの荷物用臨時列車/一般乗客を乗せた貨客混載列車)
 実施日 : 2023年9月28日(木)、(臨時列車/やまびこ209号)
 輸送区間 : 上り長野新幹線車両センター ~ 東京新幹線車両センター
 下り東京駅 ~ 仙台駅
 荷物搭載 : 上り=5両 下り=車内販売準備室
 輸送商品 : 青果、食品、医療用医薬品、精密機器等 約700箱(うち東京駅にて約200箱の荷下ろし)



出典: 東日本旅客鉄道株式会社・株式会社ジェイアール東日本物流、記者発表資料 (2023年5月17日、2023年8月9日、2023年9月21日)